

ディベートの立論

- 肯定側 第一立論(4分)
- 否定側 第一立論(4分)
- 肯定側 第二立論(4分)
- 否定側 第二立論(4分)
- 否定側→肯定側 反対尋問(3分)
- 肯定側→否定側 反対尋問(3分)
- 肯定側 最終弁論(2分)
- 否定側 最終弁論(2分)
- 審査・判定(3分)
- 肯定派・否定派による補足(4分)

肯定側第一立論

- ①現代日本語の能力向上
- ②古典を読む過程で、論理的思考を学べる
- ③先人の知恵に学ぶ
- ④国際社会を生きていくには自国の文化を知るべき

否定側第一立論

- ① 古典語を言語として使うことはない
- ② 古典文学は現代語訳でも読める
- ③ 古典には高校教育に不適切な内容あり
- ④ ナショナリズムの助長

肯定側第二立論

- ⑤ 文語文に自らアクセスできる
- ⑥ 現在の価値観の相対化
- ⑦ 古典は日本人の文化的アイデンティティ
- ⑧ 古典を批判的に読む

否定側第二立論

- ⑤現代日本語の向上にはつながらない
- ⑥古典で論理的思考は学べない
- ⑦貴重な時間はもっと実用的なものに
- ⑧情理は現代語訳でも可
- ⑨規定された自国の範囲